

## 2025 年度 授業計画(シラバス)

|                                                                           |         |             |                      |        |             |                   |
|---------------------------------------------------------------------------|---------|-------------|----------------------|--------|-------------|-------------------|
| 学 科                                                                       | 鍼灸美容学科  |             | 科 目 区 分              | 専門基礎分野 | 授業の方法       | 講義                |
| 科 目 名                                                                     | 臨床医学総論Ⅱ |             | 必修/選択の別              | 必修     | 授業時数(単位数)   | 30 (1) 時間(単位)     |
| 対 象 学 年                                                                   | 2年生     |             | 学期及び曜時間              | 後期     | 教室名         | 講義室               |
| 担 当 教 員                                                                   | 奥谷和哉    | 実務経験とその関連資格 |                      |        |             |                   |
| 《授業科目における学習内容》                                                            |         |             |                      |        |             |                   |
| ①医療従事者として必要な臨床医学基礎知識を修得することができる②国家試験出題基準を達成することができる③臨床現場で活用ができることを目標とします。 |         |             |                      |        |             |                   |
| 《成績評価の方法と基準》                                                              |         |             |                      |        |             |                   |
| 学期末テスト・小テスト                                                               |         |             |                      |        |             |                   |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》                                                         |         |             |                      |        |             |                   |
| 「臨床医学総論 第2版」 奈良信雄 著 (医歯薬出版)、配布プリント                                        |         |             |                      |        |             |                   |
| 《授業外における学習方法》                                                             |         |             |                      |        |             |                   |
| 臨床医学各論との相互性が大切となる分野ですので、合わせて学習できるようノートや資料・配布プリントを自身で工夫し、理解しやすいように活用しましょう。 |         |             |                      |        |             |                   |
| 《履修に当たっての留意点》                                                             |         |             |                      |        |             |                   |
| 国家試験科目としても、実際の臨床現場においてもとても重要な科目です。また、他の科目を理解する上でも必要となってきました。              |         |             |                      |        |             |                   |
| 授業の方法                                                                     |         | 内 容         |                      |        | 使用教材        | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
| 第1回                                                                       | 講義形式    | 授業を通じての到達目標 | 下記症状の診察・鑑別について説明できる。 |        | 教科書<br>プリント | 該当する疾患の各論を理解してくる  |
|                                                                           |         | 各コマにおける授業予定 | 頭痛、顔面痛、歯痛、眼精疲労、鼻閉・鼻汁 |        |             |                   |
| 第2回                                                                       | 講義形式    | 授業を通じての到達目標 | 下記症状の診察・鑑別について説明できる。 |        | 教科書<br>プリント | 該当する疾患の各論を理解してくる  |
|                                                                           |         | 各コマにおける授業予定 | めまい、耳鳴り、難聴           |        |             |                   |
| 第3回                                                                       | 講義形式    | 授業を通じての到達目標 | 下記症状の診察・鑑別について説明できる。 |        | 教科書<br>プリント | 該当する疾患の各論を理解してくる  |
|                                                                           |         | 各コマにおける授業予定 | 咳・痰、息切れ(呼吸困難)、動悸、胸痛  |        |             |                   |
| 第4回                                                                       | 講義形式    | 授業を通じての到達目標 | 下記症状の診察・鑑別について説明できる。 |        | 教科書<br>プリント | 該当する疾患の各論を理解してくる  |
|                                                                           |         | 各コマにおける授業予定 | 腹痛、便秘、下痢、月経異常、不正性器出血 |        |             |                   |
| 第5回                                                                       | 講義形式    | 授業を通じての到達目標 | 下記症状の診察・鑑別について説明できる。 |        | 教科書<br>プリント | 該当する疾患の各論を理解してくる  |
|                                                                           |         | 各コマにおける授業予定 | 排尿障害、乏尿・無尿、多尿        |        |             |                   |

| 授業の方法 |      | 内 容         |                                       | 使用教材        | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---------------------------------------|-------------|-----------------------|
| 第6回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 下記症状の診察・鑑別について説明できる。                  | 教科書<br>プリント | 該当する疾患の各論を理解してくる      |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 浮腫、肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛                      |             |                       |
| 第7回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 下記症状の診察・鑑別について説明できる。                  | 教科書<br>プリント | 該当する疾患の各論を理解してくる      |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 上肢痛、腰下肢痛、関節痛、運動麻痺                     |             |                       |
| 第8回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 下記症状の診察・鑑別について説明できる。                  | 教科書<br>プリント | 該当する疾患の各論を理解してくる      |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 食欲不振、肥満、やせ(るいそう)、発熱                   |             |                       |
| 第9回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 下記症状の診察・鑑別について説明できる。                  | 教科書<br>プリント | 該当する疾患の各論を理解してくる      |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | のぼせ・冷え、不眠、発疹、ショック、出血傾向                |             |                       |
| 第10回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 下記症状の診察・鑑別について説明できる。                  | 教科書<br>プリント | 該当する疾患の各論を理解してくる      |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 易感染症、貧血、眼振、口渇                         |             |                       |
| 第11回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 下記症状の診察・鑑別について説明できる。                  | 教科書<br>プリント | 該当する疾患の各論を理解してくる      |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 嗄声、嚥下困難、血痰、喀痰                         |             |                       |
| 第12回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 下記症状の診察・鑑別について説明できる。                  | 教科書<br>プリント | 該当する疾患の各論を理解してくる      |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 胸水、悪心・嘔吐、吐血・下血、意識障害                   |             |                       |
| 第13回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 様々な療法の概要について説明できる。                    | 教科書<br>プリント | 該当する疾患の各論を理解してくる      |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 概要、薬物療法、食事療法、理学療法、その他の療法              |             |                       |
| 第14回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 様々な心理的方法論について説明できる。                   | 教科書<br>プリント | 該当する疾患の各論を理解してくる      |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 患者の心理、心理学的検査・評価法、カウンセリング、その他の療法       |             |                       |
| 第15回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 局所の診察、疾患別にまとめられる。<br>その他の範囲の概要を説明できる。 | 教科書<br>プリント | 該当する疾患の各論を理解してくる      |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 前期のまとめと後期のまとめ、その他の範囲の概要               |             |                       |